

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1436411
園名	円融寺幼稚園

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

自然

〈テーマの設定理由〉

畑が園庭内にあるという園の特徴を活かし、「自然」をテーマとして設定した。
作物は子どもたちの日常生活において身近なものであり、作物の生態や生長に関心を寄せる姿が見られたことから、作物や稲作を栽培することを通して、絵本や図鑑だけでは得られない多くのことを学ぶことで子どもたちの興味関心をさらに深めるために設定した。

2. 活動スケジュール

- ・一年を通して、自然に触れる探究活動を継続的に実施した
- ・日常の保育の中で、園庭の畑を中心に活動を展開した。
- ・季節や生育状況に応じて、種まき・観察・世話・収穫を行った。
- ・クラスや少人数グループでの活動を基本とし、無理のない頻度で実施した。

3. 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

◎環境の設定

- ・園庭内にある畑を活用し、子どもが日常的に自然に触れられる環境を整えた。
また、園で種籾を用意し、稲を育て生長を観察した。
- ・土、作物、道具に直接触れられるよう、栽培用のバケツ、ペットボトル、土、シャベル等を用意した。

◎探究の過程

- ・畑や種を見ながら、「この種からどんな野菜ができると思うか」「きゅうりは土の上にはできるのか、土の中にはできるのか」など、子ども自身が疑問を持てるような問いを設定した。
- ・子どもたちは種を手に取り、色や形、大きさに気づきながら観察していた。
- ・種を畑の土に入れ、水をあげる経験を通して、生長への関心を深めていった。
- ・生長の過程では、芽が出る様子や葉の大きさの変化に気づき、繰り返し畑に足を運んで観察した。
- ・年長児を中心に一人一人が自分専用のペットボトルで稲を育てる経験を取り入れた。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教諭との関わり〉



まずは大事な畑を耕すよ



肥料や培養土も混ぜてよい土にな〜れ！」



「小さな種を落とさないようにそ〜っともって…。ここに入れよう」



「いんげんたくさんとれたよ！」



「草むしりもみんなでしたよ！
だいこんさん大きくな〜れ！」



「こんなに大きくなったよ！
抜くの大変！」



「これが稲なんだね。初めて見たよ」



4. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・種や土に直接触れることで、子どもたちは自然物への関心を高め、じっくり観察する姿が見られた。
- ・「まだかな」「大きくなったね」など、生長の変化に気づいた言葉が聞かれた。
- ・友だちと一緒に畑をのぞき込み、気づいたことを伝え合う姿が見られ、自然を介した関わりが生まれていた。
- ・保育者は子どもの発見や疑問に共感し、答えを教えるのではなく、気づきを受け止める関わりを心がけた。
- ・一人ひとりの興味や関心に違いがあり、それぞれのペースで自然と向き合う姿が見られた。
- ・脱穀や籾摺りも自分たちで行ったのでお米に変わっていく変化も知ることができた。
- ・お米ができるまでの大変さや一粒一粒のありがたみを深く実感することができた。